鹿児島市歴史景観エリア夜間景観基本計画の素案に係るパブリックコメント手続の意見及び対応状況一覧

1. 意見の募集期間 令和7年5月22日（木）～令和7年6月30日（月）
2. 意見の提出者数（件数） 2人（13件）
3. 意見の対応状況

（単位：件）

対応区分 \ 項目	1 本計画について	2 大切にすべき光の ルール	3 より魅力的な夜間景 観のために	4 整備イメージ	5 その他	計
A 意見の趣旨等を反映し、 計画に盛り込むもの	1				1	2
B 意見の趣旨等は、計画（素案）に 盛り込み済みのもの		1				1
C 計画に盛り込まないもの				1		1
D 具体的な事業の実施にあたり 参考とするもの	1	1	2		2	6
E その他要望・意見等	2		1			3
計	4	2	3	1	3	13

パブリックコメント手続で提出された「意見の対応状況」について (令和7年5月22日～6月30日実施)

項目	
1	本計画について
2	大切にすべき光のルール
3	より魅力的な夜間景観のために
4	整備イメージ
5	その他

対応区別の項目数、件数

対応区分	件数
A. 意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	2
B. 意見の趣旨等は、計画(案)に盛り込み済みのもの	1
C. 計画には盛り込まないもの	1
D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	6
E. その他要望・意見等	3
計	13

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
1	1 本計画について	P 5、5行目 ～夜間景観の形成(や観光客誘致を)図る～ とするとよい ※く)内が追加の意見	「1-2.本計画の目的と位置づけ」において、「観光客誘致」の文言を含める形で見直しを行います。	A
2	1 本計画について	夜間景観計画を推進するため、令和7年～令和〇年の〇年間とします。を記載した方がよい。	他の所管課の事業スケジュールとの関連もあるため、現時点で計画全体の目標年を定めることは難しい状況ですが、今後、具体の整備箇所ごとに、所管課と協議検討を行い、スケジュールを定めてまいります。	D
3	1 本計画について	P 5、10行目 ～歩いて楽しめるまちづくり推進事業とも連携しながら(安心安全に楽しむため、防犯カメラの設置など)実施するものである ※く)内が追加の意見	ご意見として承ります。 本計画では、「大切にすべき光のルール」のひとつである「2.まちなみの明るさ感」に基づき、安心感が感じられ、歩きやすい夜間景観の形成を図ってまいります。	E
4	1 本計画について	施設ごとの点としての整備ではなく面としての整備という面では大賛成。ただこのエリアは交通量が多く、ゆっくりと回遊するというゆとりのある地域ではないため、夜間の照明による魅力アップも半減しているのが残念です。	賛同のご意見として承ります。	E
5	2 大切にすべき光のルール	P 7の中へ、照明施設は消費電力の削減のため、LED等を使用する旨表示した方がよい。	本計画では、「大切にすべき光のルール」のひとつとして「6.光害への配慮」を定めており、LEDは高い効率性を持つ省エネ光源であるという特徴を考慮したうえで、さらに必要以上に過剰な光を発することなく、環境と光害に配慮した照明器具の選定や運用を行うこととしております。	B
6	2 大切にすべき光のルール	P 13、6 光害への配慮 また、照明時間は、四季に応じて文中に表示したほうが良い	季節や時間帯への対応については、「大切にすべき光のルール」のひとつとして「7.光のオペレーション」を定めており、今後、整備する施設ごとに個別に詳細を検討してまいります。	D
7	3 より魅力的な夜間景観のために	P 18の(2)中央公園のところへ、行政や関係団体が主催で歴史専門家を呼び、夜間に歴史景観エリアを散策するイベントを四季毎に計画し、中央公園に集まるなど記載した方がよい。	本計画では、ライトアップや街路灯の整備などを行うことで、夜間も魅力的で歩きたくなる空間を創出することを目的とするものであるため、整備後につきまして、具体的なイベント等の記載は考えておりませんが、整備にあたっては、各施設ごとに夜間のイベント等が催されることも視野に入れ、関係部局等と連携しながら進めてまいります。	D
8	3 より魅力的な夜間景観のために	本夜間景観計画を実施するにあたり、市民、関係団体、大学等、行政が連携し、実現に向けPDCAサイクル図を作成し、年度毎に見直しすることを記載した方がよい。	本計画は、歴史景観エリアにおける夜間景観の基本的な考え方や整備イメージ等を示したものであるため、PDCAサイクル図は記載いたしません。具体的な整備にあたっては、景観審議会の意見等を伺いながら、効果的な整備順などについて見直しを繰り返し行い、進捗管理してまいります。	D
9	3 より魅力的な夜間景観のために	対象エリア内は民家もあり夜間景観のための照度規制ができるのかが心配	ご意見として承ります。本計画は、公共空間を対象として「5-2.『大切にすべき光のルール』の適用」において、歩道、広場、交差点などの対象に応じた照度を設定しております。なお、本計画は民有地において規制を行うものではありませんが、本計画の内容に配慮していただけるよう周知を図り、良好な景観形成の誘導に努めてまいります。	E
10	4 整備イメージ	県政記念館周辺の中へ、鹿児島医療センターと国道10号線にある、西南戦争中の銃弾跡のある歴史的な石垣を入れるべきと思う。	本計画の作成にあたっては、ご指摘の石垣についても把握しているところですが、「3-2.調査結果」および「5-3.整備箇所の検討」については、夜間の回遊性向上を図るため、まずは照国通りから歴史と文化の道を経由し、市役所本庁舎への回遊動線を軸に選定しているところがございます。	C
11	5 その他	鹿児島市も取り入れている、SDGsをこの計画内へ記載した方がよい。	ご意見を踏まえ、目指す主なSDGsのゴールについて記載します。	A
12	5 その他	エリアとしての魅力(夜間には限らないが)の一つの案としては何かの推進デーとか〇〇の日とかメッセージ性のある色を使ってエリア全体としてのおもしろさを演出する方法(アミュランがしている様なこと)	本計画では、「大切にすべき光のルール」のひとつとして「7.光のオペレーション」を定めており、季節や時間帯によって明るさや色温度を変更できる照明の活用等により、ご指摘のような特定の日に合わせた色の演出につきましても、可能な範囲で対応できるように検討してまいります。	D
13	5 その他	エリア(歴史文化ロード)を歩行者天国にしてみるという、かつてない試み(プロジェクトマップは予算が多額になるのでここではしない)にぎわい創出、新規性、歴史と向き合える…鹿児島の魅力の一部になるのでは	整備にあたっては、各施設ごとに夜間のイベント等が催されることも視野に入れ、関係部局等と連携しながら進めてまいります。	D